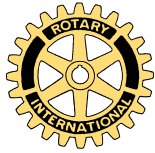


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 橋本 恭典  
幹事 鈴木 文三郎  
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2588回例会プログラム

[当年度=30回目；当月=5週目]

2008年（平成20年）3月31日(月)

## ビ ジ タ ー

知立 RC

加藤 量平 様

## ゲ ス ト

研究グループ交換派遣メンバー

永田 万規衣 様

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……………手に手つないで  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食 事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. RI 第1780地区(フランス)研究グループ交換(GSE)  
派遣メンバー挨拶……………永田<sup>まきえ</sup>万規衣 様  
9. 退会会員挨拶……………前田<sup>おさむ</sup>理 会員  
神田<sup>げん</sup>彦 会員
10. 幹事報告  
11. 出席報告  
12. 委員会報告  
13. ニコニコボックス報告  
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(4/7)……………花見家族例会(親睦活動委員会)  
松楓閣・名古屋城  
(4/14)……………クラブフォーラム(雑誌委員会)  
講師 日本舞踊西川流師範 西川 まさ子 様  
(紹介者 加藤 繁則 会員)
- 13:00 15. 本日のプログラム  
新入会員アワー  
高橋 徹治 会員  
横内 則之 会員
16. 謝 辞  
17. 点 鐘……………〈会 長〉  
18. 閉会宣言  
13:30 19. 散 会



## 出 席

会員総数 95名 出席免除 20名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名  
欠席 8名 出席率 90.91%  
前々回(3/17)の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 前田孝司会員にマルチプル・ポールハリス・フェローピンが届いておりますので、ご披露します。
- 2) 3月21日、刈谷530運動推進連絡会役員会が開催され、杉浦芳一環境保全委員長に出席して頂きました。
- 3) 同日、刈谷市観光協会理事会、並びに10周年記念植樹が刈谷ハイウェイ・オアシスで開催され、鈴木幹事に出席して頂きました。
- 4) 26日、刈谷市社会福祉協議会理事会が開催され、出席して参りました。

## 幹事報告

- 1) 4月より、昨今の円高を反映して、ロータリーレートが1ドル=98円となります。この機会にぜひ、年次寄付、ポールハリス・フェロー、ベネファクター等お願い致します。
- 2) 本日メールボックスに、刈谷商工会議所発行の「IPPIN 読本・刈谷人も知らなかった逸品 Best50」を入れさせて頂きました。会員企業はじめ50店の商品、サービスがPRされていますので、有効活用して下さい。
- 3) 知立RCから、本年度のIMのDVDが一式届いています。ご覧になりたい方は、事務局にて貸出し致します。

## 委員会報告

### ●親睦活動委員会

来週4月7日は花見家族例会となっております。集合時間は午前10時30分、JR刈谷駅北口連絡通路降口広場にご集合下さい。お間違いのないようよろしくお願い致します。

## 会長あいさつ

### 橋本 恭典



先週は、高浜クラブさんとの初めての合同例会に多数の皆様にご出席頂き、感謝申し上げます。その前日まで4-5日、ベトナムのハノイだけに行きまして。概ね同年代企業経営者、15名ほどのツアーで、現地のホテル集合、現地解散という

手軽さです。現地集合現地解散となったのは、ベトナムを含めその周辺国へ企業進出してお見えの方が半分くらいあった事に加え、国内の出発地がまちまちなため現地ホテル集合となりました。工場視察2日観光1日という極まじめなツアーで勉強して参りました。

私は、香港からの便で入り、夕方のラッシュアワーにハノイに入りました。道路の交通量に占めるバイクの割合は約8割で、街中どこへ行ってもバイクです。我先に縦横無尽にバイクが走っております。子供を挟んでの3人乗りや、中には大きな冷蔵庫のようなものを運んでいるバイクまでありました。交通事故もしょっちゅうあるそうで、昨年の暮れからヘルメット未着用の罰金を大幅アップしたら、最近ほとんど着用するようになったそうです。女性が運転するバイクも相当多く、楚々とした民族衣装のアオザイを期待していた私にはちょっと興ざめでした。日焼けを気にしているのでしょうか、ブラウスとパンツ、ヘルメットにカラフルなマスク、ひじの上までの手袋、特に若い女の子は日焼けを大変気にしているようです。

さて視察に行ったのですから、そのことについて述べ

てみます。トヨタモーターベトナムさんの工場を拝見させていただく機会に恵まれました。ハノイの工業団地で市街地から北へ1時間、空港には近いところに位置し、1996年設立、生産台数も順調に伸び、現在、ディーラーの人も含め850人の社員で年間20,000台以上の車を生産しています。社員の32.7%、3分の1が大卒なのには驚きました。車種もセダン、ミニバン、ワンボックスカーなど5車種に及び、設備の中の大型機械といえば40年前に造られた中古1,100トンのプレス位、その他も多分あちこちのトヨタさんからの中古設備です。プレス作業の挿入はもちろん手作業で一回だけプレスし、コの字型に折り曲げるような細かな作業は、プレスを抜いたあと、ハンマーで叩くやはり人力でした。塗装も手動式スプレー、溶接ロボットも一台ありません。日本からのパーツの輸入は3%にすぎず、残りはタイを始めアセアン諸国から部品調達して、組み立てているとのこと。調達された部品は先入れ先出しで行われ、開梱したダンボールなどは業者が引き取りに来てしっかりとリサイクルされました。

村上社長のお話によれば、トヨタ本社のトップ層が来社されると、「懐かしい、自分の入社した直後に大変似ている」と皆さんが感慨深げにつぶやかれるそうです。古い設備で手作りでもピカピカの新車が出来上がってきますので、息の長い、丁寧な社員教育がなされているに違いないと見学した我々もびっくりです。後からの説明で、日本を始めシンガポール、タイなどでトレーニングを受けた社員が半数もいることに加え、「ものづくりコース」という勉強会を通じてトヨタのノウハウを分かち合うことも積極的に行なっているそうです。

そのほか数社の工場、ハノイのジェットロなどを訪れ、勉強になりましたが、そういう話ばかりでは少し面白みを欠くので、23日、日曜日のハノイ市内観光に行ったとき出くわした光景のことを少し。

この日はベトナムも日本も大安で、結婚式も多く行われており、披露宴の後でしょうか、花嫁さんの友人とおぼしき、赤いアオザイで着飾った若い女性を多勢見ることができました。最近では花嫁は白のウェディングドレスが多く、友人がアオザイを着用するそうで、細身の体が余計細く感じられます。

ロシアの赤の広場、中国の天安門のような、大変広くて小奇麗にしている町の中心部の広場に、この国の指導者ホーチミンさんの遺体が安置してある、ホーチミン廟があります。ホーチミンは「独立と自由ほど尊いものはない」と言って、アメリカに対して徹底抗戦し、ベトナム戦争真っ只中の1969年に亡くなりました。

その見学に行きましたが廟の周りは信じられないくらい長い行列で、とても1時間程度待つだけでは入れそうもなく、我々のツアーはその列の長さの恐れをなし、ガイドさんの要請を振り切ってあきらめました。没後約40年、多くのベトナム国民や、若いガイドさんのホーチミンさんへの思慕の情が伝わってきました。1国の指導者でこれほど国民に愛されている人はほとんど思い浮かんで参りません。

## 退会会員挨拶



前田 理 会員



神田 彦 会員

## 新人会員アワー

中部電力 刈谷営業所長  
高橋 徹治 会員



日頃は当社の電気をお使い頂き、ありがとうございます。私も刈谷営業所の担当エリアは、刈谷市含む碧海5市で、販売電力量は岡崎支店の7営業所でトップ、全社55営業所の中でも上位3本の指に入ります。

これもひとえに、刈谷ロータリークラブの皆様はじめ、多くの企業の皆様が西三河エリアの経済と産業の基盤を支えておられる証と、深く感謝申し上げます。

現在は、カラスが恋の季節の真っ盛り。電柱上で巣作りをされますと、そこに使われる針金等が原因となって停電故障が起きるため、巣の撤去作業に追われる毎日です。そしてカラスの季節が終わる頃には、電気の大敵の雷、そして台風の季節が始まります。

日夜、品質の良い電気をお届けできるように頑張っておりますが、それでも、時にご迷惑をおかけすることがあるかもしれません。なにとぞご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

次に、明日4月1日からの電気料金の見直しについてお話しさせていただきます。当社は昭和63年1月以降、8度にわたり電気料金の値下げを行ってまいりましたが、今回は、原油価格の異常な高騰を受け、燃料費の上昇による値上がり幅を圧縮（一般のご家庭で0.8%）するにと

どまりました。

原油価格の高止まり状態がまだに続き、今後の状況が見通せないところではありますが、経営全般の効率化を推し進めるとともに、電気の安定供給に全力で取り組んで参りますので、どうかご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、先日の新聞に、牛のげっぶに含まれるメタンガスの温室効果がバカにならないほど大きく、日本だけでも温室効果ガス全体の0.5%を占めるという話がありました。7月の北海道洞爺湖サミットに向け、わが国が地球温暖化対策において、いかにリーダーシップを発揮できるかが、非常に大きな課題となっています。

原子力発電は発電時に二酸化炭素を出さず、大型の発電所1基で温室効果ガスの0.5%を減らせ、これからの地球温暖化対策の一翼を担うことができます。

さらに今年に入り、いったん使った原子燃料をリサイクルして再利用する「プルサーマル」計画が、当社をはじめ九州、四国、関西の電力会社で本格的に動き出しています。また、私も3年間働いておりました、青森県六ヶ所村の原子燃料リサイクル（再処理）工場が、5月に竣工する予定です。こうした電力業界をあげた取り組みを通し、洞爺湖サミットでは、その意義や有効性を世界各国に発信できたら素晴らしいことだと思います。

最後に、会報委員といたしまして、今後とも刈谷RCウィークリーへのご協力、ご愛読をお願い申し上げ、終わりとさせていただきます。ご清聴頂きありがとうございます。

トヨタ紡織 常勤監査役  
横内 則之 会員



本日は、卓話の機会を与えて頂きありがとうございます。

ある雑誌で「シュリーマンの清国、日本旅行記」というのが目に留まりました。シュリーマンはドイツ人で、あの有名なトロイの遺跡を発掘した人です。彼は1865年、明治維新の3

年前に日本に来ていたのです。ペリーが浦賀に来たのが、1853年、その後12年の間にかなりの欧米人が来日し、その多くの人が感激を以って日本の事を語るのを聞き、ぜひ自分の目で日本を見たくなったとのことです。

彼は、8ヶ国語に通じるという類稀なる才能の持主で、世界中を回り、貿易で財を成しました。日本での滞在期間はほんの2ヶ月程ですが、優れた観察力により当時の日本の様子を克明に記録しております。

その前に清国を訪れておりますが、当事、国が乱れていたこともあり、町は汚れて、乞食が多く、手間賃も法外にふっかけられたと手厳しい感想を述べております。

それに引きかえ、日本については大変好意的で、『人足は、禪一本の刺青姿であるが、賃金は安く心づけは一切受け取らない。人々は大変親切で礼儀正しい。男も女も読み書きができ、教育レベルは欧州の文明国以上。住

宅は手入れと整頓が行き届いており、世界一清潔な国民。完璧な秩序が保たれている』などと書き残しています。

そこで興味をもって300年程遡り、戦国から安土桃山時代に来たバテレン達の日本人観がどうであったかを調べてみました。一番有名な人は1549年から2年間日本で布教活動をしたフランシスコ・ザビエルで、彼はイエズス会の本部に次の様な手紙を書き送っています。

『私達が交際することによって知り得た限りでは、この国の人々は今迄に発見された国民の中で最高であり、日本人より優れている人々は異教徒の中では見つけられないでしょう。彼らは、親しみ易く、一般に善良で悪意がありません。驚く程、名誉心の強い人々で、何よりも名誉を重んじます。大部分の人は貧しいのですが、武士もそうでない人も、貧しいことを不名誉とは思っていません。(名こそ惜しけれとは、鎌倉武士の最大の価値観でもありました。)日本人は、大変立派な才能があり、理性に従う人達です』と言っています。

更に、ルイス・フロイトという人は、1563年から亡くなるまでの30年余り日本に住みつき、天下人の信長や秀吉に身近に仕えましたが、その人も『日本人は、慎み深さと躰の良さは天性のもので、日本人は優しく、多感な心の持主である』と言っています。この様な見方は、終戦後の進駐軍の人達にも多く見られます。

ちょうど今、「明日への遺言」という映画が上映されていますが、そこでも、B級戦犯で死刑になった岡田中将(名古屋空襲のB29の搭乗員を処刑した罪)が、米国人の目から描かれており、感動を呼びますので是非鑑賞をお勧めいたします。

米国駐在中、私は一度も日本人以外に見られたことはなく、あるタクシーの運転手になぜ日本人と判るのかと聞いてみると、彼が言うには日本人は

- ・服装が SOPHISTICATE である (洗練している)
- ・POLITE である (礼儀正しい、教養がある)
- ・DIGNITY あるいは MAJESTY (品位、威厳がある)

といった特徴があるので、すぐ判るとのことでした。

また、中国でも、さる国営企業と合併事業の件で激しくやり合ったことがあります。最後の送別会のスピーチで、先方の代表から私のことを「高倉健」のようだと言われました。その時は意味が判りませんでした。中国人が「高倉健」みたいだと言うのは最高のほめ言葉で、要は、高倉健のかもし出す雰囲気、生き様が彼らにとって、日本人の典型と映るのでしょう。また、日本人は優しくて品が良いとも言われます。

こうした日本人のイメージは、これまで多くの人々が長年築き上げてきたもので、この数百年間ずっと変わらず、連綿と続いてきたということに、大変感慨深いものがあります。しかるに昨今は、

- ・道端の空カン、ビニール袋の散乱、自宅前の歩道の雑草さえ放置。
- ・若者の身嗜みの乱れと、傍若無人な立居振舞。
- ・子供の著しい学力低下と、わが子中心の度を過ぎた親。

など、情けない事象が身近に数多く見られます。

日本人は、なぜこの様に、急速に劣化したのかと思います。戦後教育には、良い面も沢山ありましたが、反面、自由と権利ばかりを主張し、公德心や忍耐力といった精神面の教育を疎かにしてきた結果ではないかと思います。

最近の小学校では、コミュニケーションができず、人の痛みも判らない子や、道具をうまく使えない子が増えているそうです。

これは、その親である団塊ジュニアが、子供達に、自立の機会を与えたり、世の中の常識を教えていないからだと言われていますが、元々はその団塊ジュニアを自由放任し、躰教育をないがしろにして来た、私共団塊世代の責任ではないかと思います。

欧米には、キリスト教の倫理観や、自由、平等、博愛などの建国の精神といった確固としたバックボーンがあり、世の中に多少の揺らぎがあっても、結局はそこへ収斂していくようになっています。日本も戦前、儒教とか武士道とか、それなりの価値観に裏打ちされた行動様式がありましたが、今はそれに代わるものはありません。

大和民族の本質がそう簡単に変わることも思えませんが、これからの人々が迷走しないように私共の世代が自ら率先重範し、嫌われることを恐れず、“何が良くて何が悪いか”を若い人にキチンと教えることが肝要だと思います。

当座は聞く耳を持たなくても、必ず心のどこかに記憶が残りに、いざという時にそれが蘇って来るものです。それが、私共の残された最後の役目ではないかと思うこの頃です。とりとめのない話になりましたが、ご清聴ありがとうございました。